

## 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農村教育推進費

### 事業名 経営体育成支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部農業経営課担い手対策室経営体強化育成係 電話番号：058-272-1111 (内 2847)

E-mail: c11419@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 116,000千円 (前年度予算額：116,000千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	116,000	116,000	0	0	0	0	0	0	0
要求額	116,000	116,000	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・農業従事者の減少と高齢化が進む中、農業の持続的発展を図りつつ、国民への食料の安定供給を図るためには、地域の農業を担う効率的かつ安定的な経営体の育成・確保を図ることが喫緊の課題となっている。
- ・そのため、「人・農地プラン」を作成し、中心経営体等の育成・確保に関する目標を定めて、この目標の達成に取り組む地域等を支援することにより、中心経営体等の育成・確保を図る必要がある。

### (2) 事業内容

ア 融資主体補助型等経営体育成支援事業 76,000千円

- ・中心経営体等が融資等を受け、農業用機械等を導入する際、融資残について補助金を交付することにより、主体的な経営展開を支援。
- ・併せて、融資の円滑化等を図るため、農業信用基金協会への補助金の積増しによる金融機関への債務保証（経営体の信用保証）を支援。

補助率：融資残額(事業費の3/10以内) 1経営体あたり上限300万円  
事業実施主体：市町村

イ 条件不利地域補助型経営体育成支援事業 40,000 千円

- ・経営規模が小規模・零細な地域において意欲ある経営体を育成するため、共同利用機械等の導入を支援。

補助率：1/2 以内（1 経営体あたり上限 4,000 万円）

事業実施主体：市町村

### （3）県負担・補助率の考え方

国 10/10

### （4）類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	116,000	地域の担い手が、融資を活用して農業用機械、施設を導入する際の融資残に係る助成
合計	116,000	

### 決定額の考え方

## 4 参考事項

### （1）国・他県の状況

全国で同様の事業を実施している。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

**（事業目標）**

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 「人・農地プラン」に位置付けられた地域の中心となる経営体等に対して、農業用機械等の導入を支援し、これらの経営体の経営発展等を図ることにより、地域農業の持続的発展等を図ります。

**（目標の達成度を示す指標と実績）**

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
	(H )	(H ) (H )	(H )	(H )	%

**○指標を設定することができない場合の理由**

「人・農地プラン」に位置付けられた目標は、個々の経営体によって異なるため、統一的な指標を示すことはできません。

**（前年度の取組）**

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）  
 3月 要望調査の実施  
 6月～ 事業採択、事業実施

**（前年度の成果）**

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

○事業実施状況

	経営体数 <small>（見込み）</small>	事業費 <small>（千円）</small>	補助金 <small>（千円）</small>
H元補正分	4	45,455	20,654
R 2当初分	4	22,359	6,097
合計	8	67,814	26,751

今後、事業を実施した経営体の経営発展等が進み、「人・農地プラン」の目標が達成され、地域農業の持続的発展等が見込まれる。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い	
(評価) ○	「人・農地プラン」に位置付けられた地域の中心となる経営体の経営発展等を図ることが、地域農業の持続的発展につながるため、事業の必要性が高い。
・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価) ○	当該事業により、経営発展等を目指す経営体の機械等の導入が進むことで、地域の農業を担う効率的かつ安定的な経営体の育成・確保が図られている。
・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある	
(評価) ○	市町村、JAなど関係機関の連携により、「人・農地プラン」に定めた目標達成に向けて取り組むことで、事業の効率化を図っている。

### (今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 担い手の減少と高齢化が進み、今後も担い手不足が問題となることが考えられるため、より一層、経営基盤を強化するための設備等の投資を進め、効率的かつ安定的な経営体を育成・確保が必要である。	
---	--

### (次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 地域農業の持続的発展のためには、効率的かつ安定的な経営体の育成・確保が必要であり、経営体の経営発展が進んできていることから、今後も継続して安定的な経営が行われるような地域の体制づくりの支援が必要である。	
--	--